

神奈川県立県民ホール本館再整備基本構想素案について

1 策定の経緯

神奈川県立県民ホール本館（以下「県民ホール」という。）の建替えに当たり、これまでの県民ホールが果たしてきた役割を踏まえた上で、新たな県民ホールが目指すべき理念、求められる機能や設備等を整理するため、神奈川県立県民ホール本館再整備基本構想（以下「基本構想」という。）を策定することとし、このたび、素案を作成した。

2 検討経過

神奈川県立県民ホール本館再整備基本構想策定委員会を次のとおり開催し、基本構想について議論した。

回	開催日	主な議題
1	令和7年5月13日（火）	基本構想骨子案について 各回の検討内容案について
2	令和7年6月11日（水）	再整備の基本方針について
3	令和7年7月7日（月）	前提条件の整理について 理念及び基本方針について
4	令和7年8月6日（水）	施設整備について
5	令和7年9月4日（木）	施設整備について
6	令和7年10月9日（木）	施設整備について 管理運営について 期待できる県民生活への効果について
7	令和7年11月7日（金）	基本構想素案について

※ 今後、令和8年2月4日（水）第8回委員会で、基本構想案について議論する予定

3 基本構想素案の概要

はじめに 基本構想策定の背景・趣旨

第1章 文化芸術及び文化施設の動向

1 上位計画及び関連計画の整理

2 全国の公立文化施設、県内のホール・アリーナ・ギャラリー等の状況

3 文化芸術及び文化施策に関する長期的な動向

第2章 県民ホールの現状と課題

- 1 現在の県民ホールの概要・利用状況・利用者属性等
- 2 現在の県民ホールの課題
- 3 県民の意見

第3章 県民ホールのあり方に関する県の検討状況

- 1 県民ホールの建替え判断に至った経緯（検討結果）
- 2 基本構想の策定に向けて
 - (1) 神奈川県立県民ホール本館再整備基本構想策定委員会の設置
 - (2) 県民参加の取組
「知事と当事者とのオンライン対話」や「みんなでつくる県民ホールアイデアコンテスト」などの取組を実施
 - (3) 県民参加の取組から把握した新県民ホールに対しての意見

第4章 理念と方針

1 基本理念と基本方針

(1) 基本理念

「県民の文化芸術のホームと感じられる拠点 ～人・文化・街がつながる～」

(2) 基本方針

基本理念を実現するための5つの基本方針

- I あらゆる人々が文化芸術に出会う広場
- II プロフェッショナルな文化芸術の創造と鑑賞の場
- III 県民が集う文化芸術活動の場
- IV 国内外の団体等との連携拠点
- V 持続可能な施設

2 運営方針

基本方針を実現するための9つの運営方針

- ① 人々が集まり交流する文化芸術の広場になる
- ② 国内外の優れた文化芸術の出会いの場を提供する
- ③ 優れた文化芸術作品を創造する
- ④ 県民の文化芸術活動を後押しする
- ⑤ 国内外の劇場や文化芸術団体と交流する
- ⑥ 文化芸術活動に係る情報を蓄積し公開する
- ⑦ 県内の文化施設や文化芸術団体のハブとなる
- ⑧ 文化芸術に関わる職能を確立し、専門的人材のキャリア形成を支援する
- ⑨ 持続可能な維持管理及び運営をする

第5章 管理運営

- 1 管理運営の基本的な考え方
- 2 運営体制と職能
- 3 公立文化施設の収支構造
- 4 安全・リスクマネジメント
- 5 管理運営手法について

第6章 施設整備

- 1 施設整備の基本的な考え方
- 2 機能エリア別の概要と諸室のイメージ

(1) 大ホール

【概要】

本格的なオペラ、バレエが実施できる多機能ホール

【諸室等のイメージ(例)】

客席2,000～2,400席程度、主舞台、両袖舞台（それぞれ主舞台と同等の広さ）及び奥舞台（主舞台の半分程度の広さ）など

(2) 中ホール

【概要】

県民の文化芸術活動の発表ができる多機能ホール

【諸室等のイメージ(例)】

客席600～800席程度、主舞台及び両袖舞台（合わせて主舞台と同等の広さ）など

(3) ギャラリー

【概要】

本格的な美術展示が実施できるギャラリー

【諸室等のイメージ(例)】

合計1,200㎡程度の展示空間

(4) 練習室

【概要】

様々な用途に利用できる多機能空間

【諸室等のイメージ(例)】

大（270㎡程度）×複数室、中（135㎡程度）×複数室

(5) 製作工房

【概要】

多様な舞台公演を安定的に上演するためのバックヤード

【諸室等のイメージ(例)】

映像、衣裳・幕類、材料加工、組立・塗装など

(6) 交流機能

【概要】

誰でも自由に入出りでき、文化芸術と新たに出会える場

【諸室等のイメージ(例)】

ロビー、休憩スペース、展望スペース、情報コーナー、案内機能、教育機能、展示・イベント・ライブビューイング機能、飲食機能など

(7) その他機能

【概要】

あらゆる人が安心して利用し、また働ける環境

【諸室等のイメージ(例)】

事務所等、託児機能、特別室、親子室（多目的室）、ヒアリンググループ・タブレット等、事業者用スペース、備蓄倉庫など

3 整備を進める上で配慮すべき事項

4 施設整備手法

(1) 整備手法

整備手法には、従来方式、設計・施工一括発注方式、ECI方式、PFI方式、市街地再開発事業などがあるが、県民ホールの再整備に最適な手法を今後検討していく。

(2) 建設費試算

376.2億円から527.8億円程度

（設計費・工事監理費等、建設費以外は含まない）

※試算の条件

延床面積：28,500㎡（現在の県民ホールと同規模）から
34,050㎡（最大）程度を見込む

平米単価：132万円/㎡（令和5年度の予備調査時の想定）から
155万円/㎡（昨今の事例の最大値）を見込む

5 関係法令の規制

第7章 期待できる県民生活への効果

1 県民の文化芸術活動への効果

(1) 県民の文化芸術活動の活性化

(2) プロのアーティスト等と協働、共演する機会の創出

(3) 子どもたちが文化芸術と出会う機会の創出

2 地域や暮らしへの効果

(1) 地域ブランドの向上と愛着や誇りの醸成

(2) 地域全体における文化芸術の持続的発展

(3) 賑わいの創出と周辺地域の活性化

3 共生社会への効果

(1) 多様な価値観への理解の促進

(2) 誰もが活躍できる「居場所」と「生きがい」の創出

(3) 雇用の創出など

4 経済波及効果

第8章 その他

1 (仮) 収支見込 (概算)

2 県民ホール再開までの県民の鑑賞機会の確保と基盤強化

3 今後の進め方・スケジュール等

4 今後のスケジュール

令和8年2月 基本構想案の取りまとめ

第8回基本構想策定委員会

第1回県議会定例会文化スポーツ常任委員会に基本構想案を報告

3月 基本構想を策定

<別添参考資料>

・資料2-2 【参考資料】神奈川県立県民ホール本館再整備基本構想素案